

【今日の説教から】

新たな年となりまして、1月も、はや半分が過ぎました。

大変に寒い日々が続いております。お元気にお過ごしでしたか。

先週は年初とのことで創世記1章から御言葉を味わい、今日は創世記12章、アブラムが75歳にして神様の示す地に出発した出来事を読み進めてまいりましょう。

思えば、アブラムの父テラは、アブラムとその妻サライ、そして孫であるロトを連れて、ウルからハランまで、1000km以上もの距離を移動し、そこで亡くなりました。

神様はアブラムに、さらに800キロメートル離れたカナンへの移動を命じられます。父との別れの地を去り、もうこれ以上は移動したくないという親族もいたのかもしれません。神様は「国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい」と語られました。

心細い小さな集まり。しかし神様はこう約束なさいました。

「わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。」

神様は小さな民を偉大にし、祝福し、全世界への祝福の基となさいます。私達日本のクリスチャン、そしてこの教会の私たちは小さい群れかもしれませんが、神様が偉大にして祝福のもといとするとの御言葉を噛み締めましょう。私たちはいつも礼拝の場に戻り、祈りと心を捧げて主を待ち望みます。

皆様おはようございます。

新たな年となりまして、1月も、はや半分が過ぎました。

大変に寒い日々が続いております。お元気にお過ごしでしたか。

先週は年初とのことで創世記1章から御言葉を味わい、今日は創世記12章、アブラムが75歳にして神様の示す地に出発した出来事を読み進めてまいりましょう。

思えば、アブラムの父テラは、アブラムとその妻サライ、そして孫であるロトを連れて、ウルからハランまで、1000km以上もの距離を移動し、そこで亡くなりました。

神様はアブラムに、さらに800キロメートル離れたカナンへの移動を命じられます。

12:1 時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。

それはそれは寂しい、孤独な、心細い旅路だったのではないか。

ウルからハランまでの辛く厳しい旅路。アブラムの父テラにとっては、それはそれは高齢の身には辛かったことでしょう。しかし彼らはたどり着きました。その安住の良き地と思われ

たそのハランから、またも 800 km も離れたところへの旅路とは、想像を絶するものであったに違いありません。父との別れの思い出のある土地。親類はもう先に進みたくないと言ったのでしょうか。それともあえて神様は彼らとたもとを分かって新たな旅に出よと語られたのでしょうか。

「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。」

しかし神様には大きなご計画があります。神様はご自分の民を通してご自身の素晴らしい御業を現わされます。別れ、心細さ、欠乏、寂しさ…、それらの困難を乗り越えて、神様はご自身の素晴らしい、輝ける御心を成し遂げられます。

12:2 わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。

その心細き、小さな小さな群れ。心細い、どこへ行くのかもしれない歩みと人生。しかしそこに、その只中に神様はいらっしゃいます。

「わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。」

クリスチャンである私たち。そしてこの教会。そして私たち一人一人。小さな存在と思いがちですが、神様は「あなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう」と語られます。それは何のためでしょうか。

「あなたは祝福の基となるであろう。」

このためですね。私たちが大きくなるという事は、それが目的の終点ではなくて、目的の手段であるという事を心に刻みたいのです。「あなたは祝福の基となるであろう。」私たちが祝福の基礎となり、土台となり、湧き出る祝福の泉の湧き出る口となって、周囲に祝福が流れていくのです。

12:3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、／あなたをのろう者をわたしはのろう。地のすべてのやからは、／あなたによって祝福される」。

地のすべての人たちは、この地上の人すべては、「あなたによって祝福される」のです。そのために私たちは時に寂しいところへ心細く出でています。しかしそのことは、そのように苦しい状況であればあるほど、人の力ではなくて神様の力によって物事がなされていると

いうことが分かり、神様の御名があがめられるのです。主のお語りになられることがいかに私たちにとって苦しく、厳しく、従いづらいものであったとしても、主の御都には私たちと、世界全てのための良きご計画があります。主の御目は私たちと共にあり、私たちを呪うものを主はのろい、私たちを祝福する人たちに神様の豊かな祝福があります。

マタイ 10:41 預言者の名のゆえに預言者を受けいれる者は、預言者の報いを受け、義人の名のゆえに義人を受けいれる者は、義人の報いを受けるであろう。

10:42 わたしの弟子であるという名のゆえに、この小さい者のひとりに冷たい水一杯でも飲ませてくれる者は、よく言っておくが、決してその報いからもれることはない」。

私たちと共に神様の目があり、その私たちを通して、神様の祝福が私たちをきっかけとして地のすべての御心にかなう人たちに流れていくのです。何というワクワクする出来事なのでしょうか。

創世記 15:5 そして主は彼を外に連れ出して言われた、「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい」。また彼に言われた、「あなたの子孫はあのようになるでしょう」。

15:6 アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。

申命記 7:7 主があなたがたを愛し、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの国民よりも数が多かったからではない。あなたがたはよろずの民のうち、もっとも数の少ないものであった。

7:8 ただ主があなたがたを愛し、またあなたがたの先祖に誓われた誓いを守ろうとして、主は強い手をもってあなたがたを導き出し、奴隸の家から、エジプトの王パロの手から、あがない出されたのである。

7:9 それゆえあなたは知らなければならない。あなたの神、主は神にましまし、真実の神にましまして、彼を愛し、その命令を守る者には、契約を守り、恵みを施して千代に及び、

7:10 また彼を憎む者には、めいめいに報いて滅ぼされることを。主は自分を憎む者には猶予することなく、めいめいに報いられる。

14:2 あなたはあなたの神、主の聖なる民だからである。主は地のおもてのすべての民のうちからあなたを選んで、自分の宝の民とされた。

1ペテロ 2:9 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あ

なたがたが語り伝えるためである。

12:7 時に主はアブラムに現れて言われた、「わたしはあなたの子孫にこの地を与えます」。

アブラムは彼に現れた主のために、そこに祭壇を築いた。

12:8 彼はそこからベテルの東の山に移って天幕を張った。西にはベテル、東にはアイがあった。そこに彼は主のために祭壇を築いて、主の名を呼んだ。

神様の祝福のお約束が私たちと共にあり、私たちの周囲の良き人たちと共にあり、私たちは共に神様の恵みを喜びながら、約束の地に向かう旅路を続けています。

神様のお守りを信じて、今週も進みゆきましょう。

主がわたしの手を 新聖歌 474 (讃美歌 294)

主がわたしの手を 取って下さいます
どうして怖がったり 逃げたりするでしょう
優しい主の手に 全てを任せて
旅ができるとは 何なんたる恵みでしょう

ある時は雨で ある時は風で
困難はするけれど 何なんとも思いません
優しい主の手に 全てを任せて
旅ができるとは 何たる恵みでしょう

いつまで歩くか どこまで行くのか
主がその御旨を 成し給たもうまます
優しい主の手に 全てを任せて
旅ができるとは 何たる恵みでしょう

誰だれもたどり着く 大川おおかわも平氣です
主がついておれば わけなく越えましょう
優しい主の手に 全てを任せて
旅ができるとは 何たる恵みでしょう

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。アブラハムに、その 75 歳の時、主からのお言葉がありました。父と共にウルからハランまで 1,000 キロメートルを超える道のりを経て、またさらに 800 キロメートルの旅。「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい。」小さな群れ、心細い旅。しかし主は行く手を示して導いてくださいます。「わたしはあなたを大いなる国民にし あなたを祝福し、あなたの名を高める 祝福の源となるように」と語られました。神様の言葉を信じて今週も旅立つ私たちをお守りください。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン